

# 頼高市長のあったか市政を問う

## 一般質問

9月定例会では25・26・27日の3日間で15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長 長 智 康  
池 上



## 一般質問

一 関 和 一 議員（民進党）

**東京湾北部地震から市民の命と財産を守る上で「蕨市災害対策基本条例」制定は市の責務である**

**議員** 今後、30年以内に70%程度の確率で起こると言われている「首都圏直下型地震」に対し、どのような基本姿勢や防災理念を描いているのか。

**市民生活部長** 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの重点プログラムとして、「自助・共助・公助の連携による防災都市づくり」を掲げ、その実現に向け、住宅の耐震化や家具の転倒防止を初めとする自助の取り組みの促進、地域防災リーダー育成による自主防災組織の支援、他市町村や民間団体との災害協定の拡充など、各種施策を実施することとなる。

**議員** 「蕨市災害対策基本条例」の必要性、意義、効果についてどう考えているのか。

**市民生活部長** この条例の必要性等については、各自治体において、さまざまなお考えがある。その中で共通していることは、いつ起こるかわからない災害に対して、いかに自助・共助・公助それぞれ

の意識と力を高め、また、その連携を深めていくかということが重要であり、そのためにより具体的かつ実効性のある方策と行動が求められているということである。今後もし引き続き調査・研究を進めるが、市としては、防災講座や防災訓練等のさまざまな機会により、市の防災計画等の周知を進め、市民一人一人の防災力の向上に努めていきたい。

**災害対応に特化した「蕨市災害対策基金」の創設を**

**議員** 想定される東京湾北部地震に照応して、新たに「蕨市災害対策基金」を創設する考えはないか。

**市民生活部長** 災害対応に当たっては、当面、財政調整基金の活用を念頭に置いて考えている。基金の創設は今後の研究課題としたい。



地域の行事等で一時的に使用されている民間駐車場（北町2丁目）

**北町2丁目地区の公園整備について**



いちのせき かすいち

**議員** 22年前からの悲願である北町2丁目地区への公園整備に向けて、市立病院に隣接する民有地（現在は駐車場として使用）を買収もしくは賃貸してはどうか。

**都市整備部長** 街区公園としての基準面積や誘致距離を考慮した場合の配置などに課題があること、また、土地所有者が駐車場として活用していることや、取得するための財源なども勘案すると、現時点では難しいと考えている。

## 防災行政について ～防災意識の向上のために～

**議員** 「防災の日」の意義を踏まえて、防災フェアの開催、防災備蓄品の総点検、学校・事業所・家庭における防災ランチ等の取り組みを考えてみてはどうか。

**市民生活部長** 防災週間（8月30日から9月5日まで）前ではあるが、総合防災演習で各種訓練や展示を実施しており、市民の防災意識の啓発に効果があるものと認識している。しかし、そのほかにも家庭、事業所、町会に対し、備蓄品の総点検や防災ランチの実施を呼びかけることで、自助・共助の取り組みを促進することは可能だと思うので、広報紙やホームページ等を活用した啓発を検討したい。

**議員** 総合防災演習が雨天やグラウンド不良で中止の際は体育館で防災講演等に変更して実施できないか。

**市民生活部長** 講演会は講師の対応が内部、外部ともに難しいと考えている。講演会以外での代替事業については、雨天決行の自主防災会単位の訓練等が考えられるが、まずは実施について、自主防災会のご意見を伺っていききたい。

## 教育行政について

**議員** 子どもたちの情報活用能力の充実を図る上から、学校のICT環境を整備することは重要であると考えているが、無線LAN、タブレット端末等の導入計画はどのようか。

**教育長** 整備にはこれまでにかなりの費用を要するところから、より効果的に授業等で活用できる機器の選定について、引き続き検討を進めるとともに、早期の導入ができるよう財源の確保に努めたい。



たかはし えつろう

## 地方公会計について

**議員** 固定資産台帳のファシリティマネジメントへの活用及び、行政コスト計算書のコスト分析への活用をどのように考えているのか。

**総務部長** 資産の二元的な管理と更新時期の把握が可能となり、固定資産台帳のデータを踏まえて、更新必要額を推計することにより、施設の更新時期の平準化や総量抑制を図るための適切な更新、長寿命化を行うことにつながるものと考えている。また、行政コスト計算書の活用については、国の通知において施設別の行政コスト計算書を作成し、中・長期的なコスト比較をするなどの事例等が示されており、今後検討していきたい。

## 三輪 かずよし 議員（新生会） 蕨市庁舎整備検討審議会について

**議員** 市庁舎整備の基本的なあり方について審議されている「蕨市庁舎整備検討審議会」において、市職員で作成された「蕨市庁舎整備検討報告書」の中の「現在地での建て替えが最も適している」というような結論を、資料として添付した理由はどのようなものか。

**総務部長** 審議会においては、これまでの庁内での検討や考え方について、既に公表している「蕨市庁舎整備検討報告書」を基礎資料として報告し、改めて専門的な能力を有する事業者の支援も受けながら、ご審議いただくことを考えたところである。

**議員** 審議会に資料を提出することは必要かと思うが、審議会委員の方々に判断していただくのであれば、結論を載せる必要はなかったのではないかと。私は、蕨市全体を考えたときに、駅前に市庁舎があれば、市民の利便性が必ず上がると考えている。また、仮庁舎や市立病院の整備

のことなど、将来を見据えて考えていただきたい。

## 市立病院の耐震化整備について

**議員** 市立病院は築47年が経過し、耐震工事が必要との診断結果が出ているが、今後どのようなスケジュールで耐震化整備を進めていくのか。

**病院事務局長** 今年度は周辺地域の社会環境や医療需要等の外部環境、また、病床機能を分析するなどの基礎調査を行い、平成30年度に病院の機能や市立病院が地域において果たすべき役割、また、施設のあり方もあわせて、今後の方向性を示す「市立病院将来構想」を策定する予定となっている。

## 古紙持ち去り行為への対策を

**議員** 古紙の不法な持ち去りが横行しているようだが、どのように対応しているのか。

**市民生活部長** 市としては、



みわ かずよし

職員や公衆衛生推進協議会の会員の皆さんによる見回りを実施しているほか、蕨警察署に対しても、資源物の収集日に合わせた定期的なパトロールの実施を依頼している。また、各リサイクルステーションにおける対策としては、持ち出し厳禁の看板を掲示するとともに、資源物に貼る持ち出し厳禁と記したチラシを住民向けに配布している。引き続き、収集日における巡回や持ち去られにくいステーションの環境づくり等の抑制対策に努めていきたい。



古紙の持ち去りは禁止です



## 探したい情報が見つからない！ 子育てママにわかりやすい情報提供を

**議員** 昨年度に、子育て情報誌「わらびStorye」がつけられたが、市のホームページの子育て応援サイトには、その冊子内容程度の掲載にすぎず、リンク集としても中途半端に感じられるが、改善する予定はどうか。

**総務部長** 子育て応援サイトは、子育て世代の転入や定住促進に向けて発刊した子育て情報誌「わらびStorye」をもとに、まちの魅力の紹介や子育てに役立つ情報へのリンクなど、多くの子育て世代の方々に関心を持っていただ



ホームページは市の顔！どの世代にも使いやすく改善を

けるような内容としている。引き続き、より利用しやすいサイトとなるよう内容の充実に取り組みたい。

**議員** 本市のホームページは、トップ画面において「出産」「子育て」「入学・教育」と担当部署ごとに項目が別れていたり、「子育て」のページを開いても、項目がわかりにくく、見たい情報になかなかたどり着けない内容になっている。実際に、子育て中の保護者から同様の話を多く聞くので、他市の事例を参考にしながら、温かみのある子育てサイトの提供を目指してほしい。

## 市立病院の未収金対策について

**議員** 未収の件数、金額はどのようか。

**病院事務局長** 平成28年度末時点の個人未収金としては、809件、1千525万6千386円となっている。

**議員** 改善策はあるのか。

**病院事務局長** 経理担当者を



ふるかわ あゆみ

初め、医師や看護師、医事担当が連携を図り、早期に支払い困難者などの把握に努め、支払い相談を行うなど、未収金発生を抑止に努めている。また、未収金として計上したものは、未納者本人への文書電話による督促や催告、更には連帯保証人への催告のほか、来院時に支払い相談なども行いながら回収に努めている。

## キッズウィークについて

**議員** キッズウィークは、大人と子どもが触れ合いながら充実した時間を過ごせるように、自治体が学校の長期休業日の一部を別の時期に移行し、大型連休を独自につくることで、学校休業日の分散化を図るものである。本市の実施予定はどのようか。

**教育長** 現時点では国や県から正式な通知等が示されていない。今後出される通知等を踏まえ、他自治体の動向等も注視し、調査・研究を進める。

## 一般質問

## 老人福祉センターけやき荘の快適利用を考える

**議員** けやき荘の48畳ある集會室について、足腰の痛みなどで立ち座りがつらくて、「畳からフローリングにして、いすとテーブルに替えて欲しい」「廊下のカーペットのシフが多くて危ない」などの相談を多く受けたため、アンケートを実施した。190枚配布し、回収が169枚（回収率88.9%）であり、「畳を替えていすを使うほうがよい」が95名（56.2%）、「畳のままよい」が45名（26.6%）、「どちらでもよい」が27名（15.9%）との回答であった。この結果をどう見るか。



カラオケを楽しんでいますが立ち座りは大変そうです（けやき荘）

**健康福祉部長** 高齢の方々の利用が増えてきて、いす等のほうが起居動作が楽だという結果が出たのだと思う。しかし、仮に集會室をフローリング化し、机やいすを置いた場合、机やいすの移動先をどこに確保するのか、また、高齢者のみで移動作業が安全に行えるのかという意見もある。市としては、今後よりよい方策を研究していきたい。

**議員** アンケートで60歳代の利用者が少ないことがわかり、利用者の高齢化が明確になった。東公民館の利用も飽和状態であり、増える勤労高齢者のために、夜間利用は可能か。

**健康福祉部長** 今後ニーズが高まるようであれば費用面や稼働率、費用対効果などを含めて研究していきたい。

## 地域包括ケアシステムについて

**議員** 塚越地区における地域包括支援センター開設の見通しはどうか。けやき荘など



おいし けいこ

への併設はできないか。

**健康福祉部長** 本市の各地域包括支援センターが担当する地区の面積は、近隣市と比較してもコンパクトである。今後、各地区の高齢者人口や社会情勢の変化等を見据えながらの検討が必要だと認識している。既存施設への併設は、そうした検討を行う際の参考とさせていただきたい。

## 市庁舎整備の検討について

**議員** 現在地で建て替えをした場合、市役所に行くことに不便を感じている地域の市民のために、行政機能の駅前への一部移転や市役所まで行かなくても手続きできるシステムづくりなどを考えてほしい。

**市長** 住民票等のコンビニ交付が開始され、粗大ごみ収集券の販売場所も増やしている。市役所に来なくてもできる手続きを増やしていくことは大事なことだと考えているので、今後も努力していきたい。

## 市の防災施策をわかりやすく 周知して防災力の向上を

**議員** 災害が発生した場合に

は、行政だけの力ではなく、市民と行政が協力して対応すべき局面が多々あることを多くの人が認識していると思う。本市の防災にかかわる施策について、市民が理解し、災害時にも行政と協力し合つことができるように、各種ある防災関連の計画を一冊にまとめた、ウェブサイトに公開するなど、市民にわかりやすくなるような工夫はできないか。

**市民生活部長** これまでに、

地域防災計画概要版や避難所



命を守るためにご近所が助け合う近助を

運営マニュアル等の自主防災

会への配布、地震・洪水・内水ハザードマップの全戸配布を実施し、これらをホームページで公表している。ご提案の冊子、ウェブサイトの作成については、関係部署と協議するとともに、他自治体の先進事例を調査・研究したい。

**議員** いざとなると、何をし

たらいいかわからないという市民が多いのが現状だと思う。「とにかく近所で助け合いましょう」など、みんなが心を寄せられるような、市民に寄り添ったアイデアを入れた、更にわかりやすい10ページ程度の小冊子を作成して市民の方々に周知してほしい。

**地方公会計制度における**

**「予算仕訳」の導入について**

**議員** 現在、本市では単式簿

記のみによる現金主義会計を採用しているが、複式簿記による発生主義会計を導入することで、公共施設等のマネジメントへの活用・充実につな



こばやし りき

げることができると見込まれる。採用する仕訳処理について、和光市が導入して全国でも先進事例とされる、期末一括仕訳の手法を基にした予算仕訳というものがあるが、それについてどう考えるか。

**総務部長** 予算仕訳について

は、予算科目と仕訳科目を一致させるよう、予算科目を細分化し、予算編成と同時に複式仕訳を進める仕組みを構築することにも、単式簿記仕様の財務会計システムでも対応できる可能性があるという先進的な事例と聞いている。しかし、本市の財務会計システムでは対応できないなどの理由から、総務省のマニュアルに従って、期末一括仕訳による財務書類の作成を進める

予算仕訳については、引き続き情報収集に努め研究したい。

**議員** 予算仕訳を導入するこ

とで、職員の事務負担が軽減するといったことが一番の目的だと聞いている。導入について更に検討してほしい。

## 来年4月から国保広域化 市民の負担軽減を

**議員** 県の国保運営方針（案）

への判断はどうか。

**市民生活部長** 県の方針（案）

には「赤字解消・削減の取り組み、目標年次等」の記載があるが、蔽市として、（市民の負担を考慮し、法定外繰り入れを削減すべき赤字としない取り扱いとすべきであること「平成35年度までに赤字を解消する」との文言を削除するよう意見を提出した。

**議員** 県の試算を当てはめると、市の収支差（法定外繰り入れ）は、28年度の8億9千万円から35年度に13億9千万円になる見通しだ。法定外繰り入れは、来年度だけでなく、それ以降も必要ではないか。

**市民生活部長** 一定の法定外繰入金による（市民の）負担

軽減は必要と考えている。

**議員** 所得に占める保険料（税）の割合は、国保9.9%、協会けんぽ7.6%、組合健保5.3%であり、国保加入者の負担は重い。低所得者対策の具体策はどうか。

**市民生活部長** 応益割を低く

設定して低所得者の負担を低く抑える。広域化後も（そのように）配慮したい。応益割の軽減割合は、6割・4割から、7割・5割・2割に、27年度に先行して拡充したところである。

**議員** 市長の見解はどうか。

**市長** 皆保険制度の要という国保の意義と、市民の暮らしを守る基本姿勢を堅持する。国の支援が十分との考えは今も変わらないが、法が変わるも、税率の見直しはさけられない。市民の負担増を抑制するため、一定の法定外繰り入れはする。

**公共施設の予約について**

**議員** 予約方法等が変わり、

市民に戸惑いがあった。ネッ

ト予約の成果はどのようか。

**教育部長** 24時間いつでも予

約可能で利便性が向上した。施設利用率は、変更前の25年度と比べ、28年度は数十見庭



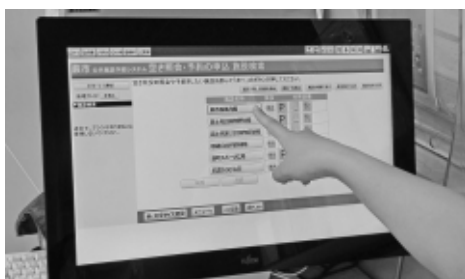
かじわら ひであき

球場が71%から87%へ上がるなどしている。ネット予約ができない市民へは、窓口で職員がパソコン操作を補助している。

**議員** 個人・団体の登録が厳格になったが、経緯はどうか。

**教育部長** 市民は市外利用者より料金や予約時期などに差（優遇）があるので、公平・公正のため、登録手続きで身分証の写しを提示いただいている。個人情報保護条例等に基づき、適切に管理している。

**ほかに** 「民泊問題」について質問。



24時間利用できる施設予約システム



# まちに緑を残せ



貴重な緑である生産緑地（南町1丁目）

**議員** 条例で「住民1人当たりの公園の敷地面積の標準は、5平方メートル以上とする」となっているが、現状は。

**都市整備部長** 187平方メートル。

**議員** 蔽のような過密地域には緑が貴重だ。市内に16か所27ヘクタールある生産緑地について、税の優遇等の法律の期限到来で、一気に宅地化が進むおそれがある「生産緑地202年問題」への市の考えは。

**都市整備部長** 法に基づき、市に買い取りの申し出がされる可能性はあると思う。その場合は、その時点で関係各課に照会をかけて、意思決定す

る。また、法改正で買い取りの申し出期間を10年間延長できる特定生産緑地制度ができ、市が指定すれば、税の優遇などが延長できるようになった。

**議員** ぜひ、地主さんには延長をお願いしていただきたい。

**学習塾の負担軽減を**

**議員** 生活困窮者自立支援制度における学習支援事業の内容と実績は。

**健康福祉部長** 就学援助を受けていて、学力の向上が必要と認められる中学生及びその後の高校生に対して、週2回の学習教室を開催。また、家庭訪問による家庭環境の改善を目指している。昨年度の参加者は16人。高等学校を受験した4人全員が進学した。

**議員** 主に自習が中心の学校士曜塾を一步進めて、学習塾のよつにする考えはないか。

**市長** 今は学習習慣の定着や経済的に困窮がある方への支援が大事だと考えている。



えのもと かずたか

**議員** 実際に、高校受験などで学習塾へ通うためには、かなりの金額がかかる。東京都や大阪市では学習塾へ通う子どもへの補助を行っている。市としてできないか。

**市長** （通塾に）お金がかかる実態がある中で、議員の問題意識は理解するが、市として何を優先するかについては慎重な検討が必要。

**議員** 今後の国の動向を注視し、獲得可能な補助金を受けするなどして、補完する制度の創設を要望する。

**防犯カメラ運用開始に向けて**

**議員** 10月の運用開始に向けて、設置場所周辺の市民から何か要望等があったか。

**市民生活部長** 自分の家が映らないように、一部黒く塗りつぶすマスキングをしてほしいという要望は何件もあった。

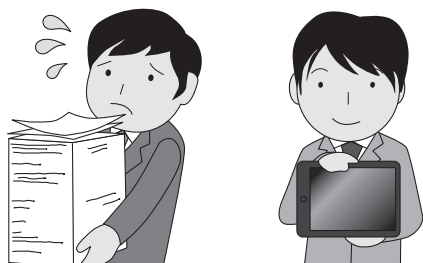
**議員** 運用開始後の市民からの要望へも、きちんと対応をしていただきたい。

## 一般質問

# 会議のペーパーレス化を進めるべき

**議員** 議会では、大量の書類が使われていて、紙のコストや印刷のコストもかかる上、資料配付のために印刷作業、とじ作業、配付作業をする労力負担も多大である。これらがタブレット端末を活用することで解消され、災害時の緊急通信にも利用できるなどの利点もあるため、会議のペーパーレス化を進める自治体が増加しつつあるが、本市の取り組みはどのようなか。また、導入してはどうか。

**総務部長** 会議のペーパーレス化について、本市では具体的な検討が必要である。



ペーパーレス化の推進を

## 携帯電話の安全教室について

**議員** 携帯電話各社が実施している携帯電話利用者への安全教室を、児童・生徒、保護者に実施する考えはあるか。

**教育部長** これまでも複数の学校で、児童・生徒や保護者を対象とした携帯電話事業者による安全教室の実績があり、今年度も小学校で2校、中学



ひき こうじ

校で1校が携帯電話事業者による保護者向けの安全教室を実施する予定である。引き続き、携帯電話事業者による安全教室の活用について、各校に紹介していきたい。

**遊具・スポーツ用具のリースサイクルについて**

**議員** 遊具・スポーツ用具の貸し出しについて、リースサイクル利用を拡充してはどうか。

**健康福祉部長** 児童館では、リースサイクル品の活用を初め、市民から、子どもが大きくなったため不要となった遊具など、数多く寄贈していただいております。再利用が可能なものは貸し出し対象として活用している。

**教育部長** 市民体育館や公民館等においては、ご提供の申し出をいただいた備品等について、その状態や利用者のニーズ、保管場所の確保などを聞きわめながら、今後有効活用が図られるよう努めていきたい。

みやした 奈美 議員（日本共産党）

## 蕨市で犯罪被害者の方への支援を 窓口設置を求める

**議員** 蕨市において、犯罪被害者の方への支援をしてほしい。市民が一番相談しやすい身近な自治体（市町村）に窓口を設置してほしい。

**市民生活部長** 市としては、（武蔵浦和にある）県の福祉センター支援センターにつなげて、その後、センターから市への要請があれば、個別具体的な支援を行う。

**議員** 副次的（二次）被害として、窓口担当者の心ない発言が更に被害者の心の傷を深めると犯罪被害者等基本計画で指摘されている。市職員への研修をしてほしいが考えはどうか。

**市長** 市民の方が相談しやすいのは一番身近な自治体だということはそのとおりである。窓口相談に来たときに、福祉センター支援センターにつなげるにしても、その後もフォローできたというくらいに取り組みはしていく必要があるのかと思う。相談に来た方に寄り添えるような体制を研

究して、着実に前進はさせていきたい。

### 錦町区画整理区域内 の交通安全対策を

**議員** 「子どもが通行しているところに車がスピードを出して交差点内に入ってくる。事故が起きるのではないかと心配」との声を市民から聞く。元蕨法ケ田線と蕨中央通り線の交差点、元蕨法ケ田線と錦町松原線の交差点の2か所の交差点に信号をつけてほしい。



信号の設置が望まれる交差点（錦町4丁目）

県や警察との関係で信号設置が難しいければ、路面標示等何か工夫はできないか。

**都市整備部長** 元蕨法ケ田線と錦町松原線の交差点は、交

差する部分から延長部分の工事が来年度も続く。一定の交通量が増加すれば信号の設置も考えられる。元蕨法ケ田線と蕨中央通り線の交差点の信号の設置は、警察から現状の交通量ではまだ難しいと言われているが、注意喚起看板の設置や路面標示を含めて、警察と十分な協議を行い、（安全対策のための）効果的な方法を実施していきたい。

### 外国人支援のための 窓口設置について

**議員** 外国人を支援するための担当部署や窓口を設置してほしいが考えはどうか。

**総務部長** 窓口の設置は難しいが、一度、関連部署を集めて、外国人の方々が市役所にどのようなことを求めているのかなどを把握していきたい。



みやした なみ

大石 幸一 議員（公明党）

## 季節性・新型インフルエンザ への対策について

**議員** 65歳以上の方々における季節性インフルエンザ予防接種の接種率はどのようか。

**健康福祉部長** 平成24年度から28年度までの5年間の高

齢者インフルエンザ平均接種率は、全体では約40%、男女別では、男性が約33%、女性が約45%となっている。

**議員** 市庁舎、公共施設、学校等において、職員及び教職員向けの感染症対策の研修は実施しているのか。

**健康福祉部長** インフルエンザが流行した平成21年度に市職員向けの研修会を1度開催しているが、それ以降は標

準的な感染予防の周知・徹底の呼びかけを随時行っている。今後、職員研修の実施を検討していきたい。

**教育部長** 教職員一人一人が適切な対応を行うことができれば、予防方法、罹患者が発生した場合の適切な対処の仕方などの研修を実施してい

る。また、学校保健委員会においては、学校医から職員や保護者、児童・生徒に対し、指導をいただいている。

**議員** 蕨市業務継続計画の新型インフルエンザ等編に記載されている「計画の検証及び見直しと各部署のマニュアル

の作成」については、現在どのようになっているのか。

**健康福祉部長** 業務継続に関する検討は、継続的に計画内容の追加・見直しを随時行っている。更

定める対応マニュアルの作成の必要性も掲げているが、現在、作成済みの部課は限られていることから、未作成の部課については対応マニュアルの検討及び作成について、今後、周知していきたい。

**議員** 児童・生徒に対する防災ヘルメットの必要性については、今までも一般質問で取り上げてきたが、その後、どのような検討・研究をしたのか。

**教育部長** 小学校の校長会において、ヘルメットの導入に関して検討したところであるが、保管方法などの学校生活における課題、保護者の財政負担等を総合的に勘案し、防災ずきんを継続して使用しているという報告を受けている。防災ヘルメットの導入については、今後も国や県、近隣市の動向等を注視しながら、引き続き研究していきたい。



おおishi こういち

## あつたか市政を問う



インフルエンザ予防の周知徹底を  
（厚生労働省啓発ポスター）



# 政策形成過程を簡素化してスピードアップを

**議員** 審議会はこのような場合に設置するのか。

**総務部長** 行政課題の解決に向けて、附属機関における検討及び審議等が必要と判断した場合に設置している。

**議員** 例えば、市庁舎耐震整備の方向性を決めるに当たっては、①行政内部の委員会②広く市民を集めた審議会の②段階のプロセスを踏んでいる。その結果、18か月間かかった。広く意見を集め、じっくりと議論を重ねることは重要だが、1段階に統合したり、①②どちらかを省略するなど、もっと早く結論を出すことは出来



市庁舎耐震整備（建て替え）を一刻も早く進めよう

たはずだ。今後、市庁舎を現在地で建て替えることになった場合、方針・構想の検討を含めて7年間かかるこのことであるが、政策形成過程を簡素化して、スピードアップを図っていただきたい。

**総務部長** 可能な限り、スピード感をもって実施したい。

**肥大化する敬老祝金に歯止めを**

**議員** 家族仲良く、元気で長生きしたい、というのは皆の願いだ。敬老祝金は、長年社会に尽くしてきたお年寄りを敬い、これまでの貢献に感謝の意を表する仕組みであり、対象となるお年寄りが増えることは素晴らしい。しかし、高齢化の進展に伴い、支給総額が増え続け、財政を圧迫している。また、この種の仕組みを縮小ないし廃止するのは政治的には極めて困難な判断だ。そこで、現在の支給総額である6千900万円を上限として固定する、総額キャップ



ほや たけし

制を提案する。

**健康福祉部長** 毎年、各年齢区分の支給額が変動するという部分を高齢者にご理解いただけるか、不透明な部分があるが、更なる検討をしたい。

**議員** 肥大化への危機感はあるが、更なる検討をしたい。有できているものと認識する。この制度に限らず、際限のない民生費の肥大化に歯止めをかけるよう要望する。

## 制度融資の改善を

**議員** 制度融資の利用状況は、

**市民生活部長** 平成24年度から5年間の利用状況は、小口事業資金融資は2件であり、融資額は300万円と250万円。中小企業経営合理化資金融資は1件で、融資額は2千万円となっている。

**議員** 現状、融資枠がフルに使われておらず、余っており、機会費用が発生している。制度の見直しを。

**市民生活部長** 今後も適切な制度のあり方を検討していく。

## 一般質問

# 「手話言語条例」の制定を「手話の普及に向けて」

**議員** 「障害者の権利に関する条約」や「障害者基本法」において、言語として位置づけられた手話を市民が使いやすい環境にしていくことは、市の責務であり、その取り組みを進めることが大事だと考える。仮称「蕨市手話言語条例」を制定する考えはないか。

**健康福祉部長** 本市では、手話通訳者の設置事業、手話通訳者の養成事業等の各種事業を実施し、手話の普及と聴覚障害のある方の手話による意思疎通を支援する環境の整備に努めている。今後も、県内の「手話言語条例」の制定状況など、さまざまな変化を注視しつつ、引き続き調査・研究したい。

**議員** 市民に広く理解していただくためには、やはり条例をもって、市の姿勢をはっきり示した上で、普及・促進を図っていくというのが基本的な考え方だと思っている。早期の条例制定に向けて、努力していただきたい。

## マイナンバーカードの普及と活用について

**議員** 総務省は、航空会社のマイレージや、地域貢献活動に参加した住民に自治体が発行するポイントなどをマイナンバーカード（個人番号カード）に集約して、買い物や公共施設への利用を可能にする実証事業を始めた。消費喚起による地域経済の活性化などのねらいがあるが、本市の現状と見解はどのようなか。

**総務部長** 個人番号カードの普及率は、9月1日時点で9.7%である。本市としては、引き続き、国の動向や今後実施される実証事業の取り組みに注視するとともに、個人番号カードの活用に関する情報収集を行っていききたい。

## 蕨駅へのホームドア設置について

**議員** JR大宮支社に対し、8月に再度、蕨駅への早期のホームドア設置についての申し入れを行っているが、申し入れ内容と結果はどのようなか。



まつもと とおる



安全性の向上のために早期のホームドア設置を

し入れを行っているが、申し入れ内容と結果はどのようなか。

**総務部長** 申し入れ内容は、落下防止といった技術的な安全性のみならず、利用者が心理的にも、より安全性が感じられる都内山手線や京浜東北線と同じ仕様のホームドアの早期設置を要望するもので、「平成31年度までの設置に向けて現在取り組んでいる。また、できるだけコストダウンして工期が短くなるような技術開発を進めていきたい」などの回答を受けている。

# 若い世代を対象とした 施策の推進を



市外から通う高校生にも愛着を持ってもらえるために（写真は蕨高校）

**議員** 青年の意向を市政に反映する取り組みはどのような高校生など青年層対象の意識調査の実施や、審議会への参加拡大についての考えは。

**総務部長** 「コンパクトシ

イ蕨」将来ビジョン策定時に高校生意識調査を実施。また、18歳への選挙権引き下げに伴い、審議会委員や公募委員の対象年齢を18歳以上に引き下げた。若い世代の意向を市政に反映させていきたい。

**議員** 青年の公民館等の利用状況や青年向け講座の開催は。

**教育部長** 青年層の利用状況は年齢確認をしていないため

把握できない。青年向け講座は、仕事帰りの方にスポットを当てたアクセサリーや料理の講座（夜間）など。体育館では、ボルダリングやトレーニングジムなど青年層にも魅力ある施設運営に努めている。

**議員** 市内の高校に通う生徒の多くは市外から通学。こうした高校生に蕨市に親しんでもらうことが重要。体育館利用や講座参加など高校を通してPRする考えはないか。

**教育部長** 市内から市外に通う高校生も含め、ニーズの把握など周知方法を研究したい。

**議員** 市長の見解はどうか。

**市長** 青年のまちづくりへの参加は、活性化や賑わいづくりにとって重要であり、市外から通う人に愛着を持ってもらうことも意義がある。これまでの取り組みも成果を上げているが、引き続き大事な課題として取り組んでいきたい。

**留守家庭児童指導室（学童保育室）の一層の充実を**



すすき さとし

**議員** 留守家庭児童指導室は、児童の成長にとっても重要な場所であり、学校との連携や指導員の専門性も必要。これまで指導員の研修参加拡大を求めてきたが、参加状況は。

**健康福祉部長** 県の資格取得研修に9人、他の県等の研修に15人、市の研修に34人が参加。資格取得者は現在20人。

**議員** 児童福祉課職員も県の研修を受けているが、将来的には、各保育室の指導や相談に対応できる職員を配置できるように要望する。

**東ロコミュニティ・ショッピング道路の駐輪環境**

**議員** 人通りの変化は。

**市民生活部長** プライス閉店前と比べて、一日平均で平日7千956人、休日6千386人の減

**議員** 今後の大型店開店による人通りの増で駐輪環境が心配。一時置き場の駐輪施設の設置が必要。出店業者と相談を

**市民生活部長** 一時置き機能を持った駐輪場を要望した。

# 野良猫を増やさない取り組み への補助金の創設を求める



浦和駅西口で毎週土曜日に行われているまちかど譲渡会

**議員** 飼い主のいない猫についての相談や苦情はどうか。また、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業補助金制度の創設を検討すべきと考えるがどうか。

**市民生活部長** 昨年度は野良猫へのエサやり、糞尿による悪臭について7件の相談や苦情があった。また、埼玉県では、今年度より個人が行う飼い主のいない猫への不妊・去勢手術に対する費用の助成事業等を実施。この県の制度を利用し、市として補助金制度を創設するには課題があるが、

検討していく必要がある。

**市長** 課題の解決を図りながら検討していく。県の補助制度ではあるが、市の予算措置等が必要となる。大変有意義な制度であると考えている。

## 特別支援教育の推進を

**議員** 小・中学校における特別支援学級の増設の状況と今後の見通しはどうか。

**教育長** 今年度、東小、西小に特別支援学級を新設。次年度は東中に新設する方向で準備を進めている。

**議員** 特別支援学校の戸田市内への新設の検討はどのように進められているのか。市民への利便性はどうか。

**教育長** 県は、知的障害特別支援学校の児童・生徒数の増加による県南部地域の教室不足を力バーするため、戸田市にある県立戸田翔陽高校の敷地内に、高等特別支援学校普通科を、平成33年4月の開校を目指して新設する。

**ほかに** 待機児童ゼロを目指す取り組みをについて質問。



やまわき のりこ

## 平和行政の推進を

**議員** 北朝鮮による核・ミサイルに対して、市民の安全を守る立場から、市の見解は。

**総務部長** 市民の平和への思いを踏みにじり、市民の生命財産を脅かす行為として、断じて許しがたく、到底容認できないとの立場から、核実験に対する抗議文を送り、強く抗議した。

**議員** 核兵器禁止条約の採択を受けて、平和都市宣言を行っている市としての見解は。

**総務部長** 核兵器のない社会の実現を願う人々の訴えが多く、の国々に通じた結果であり、核廃絶へと向かう大きな一歩につながるものと認識している。一方で、唯一の被爆国である我が国が、核保有国とともに、この条約に参加しないことを表明していることは非常に残念である。

**ほかに** 待機児童ゼロを目指す取り組みをについて質問。



# 常任委員会 視察報告

## 総務常任委員会

### ○日程

平成29年10月26日～27日

### ○視察地・調査事項

富山県魚津市

「魚津市民バス運行事業について」

新潟県糸魚川市

「駅北大火について」

### ○調査報告

魚津市では、自家用車を複数台所有する世帯が増えたこと、また、民間バス11路線中9路線が休廃止となり、公共交通における空白地域が存在し、交通弱者への足の確保が必要となりました。このため、これまでにコミュニティバス、NPO法人による市民バスの運行を開始したほか、各ルートへの位置情報の表示など、利用者増加へ向けに取り組んでいました。

糸魚川市では、平成28年12月22日に、糸魚川駅北側の中華料理店から火災が発生し、強風による飛び火などで、147棟が焼損し、面積は4万平方メートルにも及びました。今後は、5年計画である「糸魚川駅北復興まちづくり計画」により、防災とにぎわいの拠点づくりを目指していました。



## 環境福祉経済常任委員会

### ○日程

平成29年10月23日～24日

### ○視察地・調査事項

兵庫県尼崎市

「ヘルスアップ尼崎戦略事業について」

京都府亀岡市

「亀岡市立病院新改革プランについて」

### ○調査報告

尼崎市では、市民の健康保持・増進及び医療費適正化を目指して、全年齢層を対象とする生活習慣病の発症・重症化予防のための総合事業を実施していました。特に、健診受診率向上と健診結果のデータ分析に注力し、さまざまな媒体による健診周知の広報活動や、小・中学生向けの健診、コンビニ健診の実施など、多くの取り組みを行っていました。



亀岡市では、平成16年の市立病院開設以来、厳しい経営状況が続いていたことから、新改革プランを策定しました。病床稼働率を上げるための病床構成の見直しや人員配置の適正化及び計画的な定員管理、そして、病院スタッフの意識醸成を図るなど、平成32年度の黒字化を目指した取り組みを実施していました。

## 教育まちづくり常任委員会

### ○日程

平成29年10月26日～27日

### ○視察地・調査事項

大阪府高槻市

「小中一貫のキャリア教育について」

大阪府堺市

「市立学校園教職員の業務改善について」

### ○調査報告

高槻市では、連携型小中一貫教育の9年間を通じたキャリア教育を推進しており、各教科等において、実生活と関連する学習内容を取り入れる工夫や、市内にある企業等による出前講座や職場体験学習を行っています。小中一貫教育の縦の連携と、家庭、学校、地域による横の連携によって、子どもたちの社会参画力を育む取り組みをしていました。

堺市では、経験年数の浅い教員の増加や学校教育の役割等の増加に伴う教員の負担増が課題となっていることから、業務改善の取り組み事例アンケート結果を基に作成した「取り組み実践事例冊子」を活用するなど、子どもたちと向き合う時間を確保しながら、教職員の業務改善に取り組んでいました。



## 12月定例会の日程(予定)

11月27日(月) 開 会	12月1日(金) 委員会	13日(水) 一般質問
29日(水) 質 疑	11日(月) 一般質問	15日(金) 閉 会
30日(木) 委員会	12日(火) 〃	

傍聴に来て  
みませんか？

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

【問い合わせ】4階 議会事務局 電話(433)7733(ダイヤルイン)

## 広報広聴委員会を 開催しました

9月27日

「12月発行号の概要について」

11月13日

「12月発行号の最終確認について」

## 編集後記

「ストロースープ」子育てを通して巡り会った本だ。3人の兵隊がお腹を減らしてある村に辿り着く。しかし、どの村人も食糧を隠して分けてくれない。そこで、3人は考え、石からスープを作る作戦に出た。村人に大きな鍋だけを借り、そこへ石と水を入れて沸かす。村人は何が始まるのかと集まる。「少しの塩があれば」と兵隊。そこへ「塩だけなら」と運んでくる村人。また、「少しの胡椒があれば」と兵隊。「少しだけなら」と村人。そして「少しの人参、キャベツ、肉、ポテト・・・」と続き、最後にはごちそうスープを囲んで、村人と皆で宴会になる。◆この物語にはさまざまなヒントが隠されている。知恵を使うこと、皆で出し合いい、分け合うこと。「税金」と同じだと感じた。一人ひとりの市民が支払う税金。これを何のためにどのように使うか皆が健康で幸せに暮らすためにはどうすればいいのか。◆12月は1年の締めくくりとして、いろいろな場所で活動や交流がより活発になる時期。私たち議員には、多くの方の声を聞き、議会で話し合い、市政へ活かしていく役割が求められている。

## 広報広聴委員会

委員長  
副委員長  
委員

大石 幸一  
保谷 圭武  
大石 和孝  
榎本 智美  
みやした 奈美  
池上 智康  
前川 やすえ